

大洲高校PTA月報

平成27年5月号

会員寄稿

「本気」

校長 渡邊 吉正

このたびの異動で市内の大洲農業高等学校より赴任して来ました。4月から新生196名と共に大洲高等学校の生活を始めたところです。本校は中江藤樹邸祉校として116年の歴史と伝統を誇り、素晴らしい環境にあります。この学校で勉強できることは生徒も幸せであり、将来社会の様々なところで活躍し貢献することを夢見て、日々努力してほしいと思います。

生徒には高校3年間でいろいろなことにチャレンジしてほしいと願っています。挑戦して失敗しても、やらずにいるのとでは比較にならないくらい得るものが大きいと思います。「倒れる時は前向きに」の気持ちで積極的に様々なことにチャレンジしてほしいと思っています。本気で取り組んでくれることを願い、砥部町に住まわれていた坂村真民氏の「本気」という詩を紹介したいと思います。

本気になると
世界が変わってくる。
自分が変わってくる。

変わってこなかったら、
まだ本気になっていない証拠だ。

本気な恋、本気な仕事。
ああ、人間一度はこいつを
つかまないことには

そして、今年の6月19日から選挙権年齢が18歳に引き下げられ、誕生日を迎えた3年生は選挙権が与えられます。高校生にとって今までより選挙が身近なものとなってきます。健やかに政治に対する意識が高まり、選挙に安全かつ積極的に参加してくれることを期待しています。

最後に、学校教育は学校、家庭、地域が一体となって生徒の育成に関わる必要があると思います。本校の教育に関しまして特段の御協力、御理解をお願いいたします。

新学年・新ホームルーム スタート！

～集団宿泊研修・遠足・カヌー大会～

1年生は集団宿泊研修（4月14～15日、国立大洲青少年交流の家）、2・3年生は遠足（4月15日、2年生は坊っちゃん劇場、3年生はカヌー大会）を行い、新しいクラスメートや学年団の先生方との親睦を深めることができました。

